

# 目標と実績

富士通グループの全事業領域を見据えた明確な目標を設定し、計画的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでいます。

## 第5期富士通グループ環境行動計画の進捗状況

2007年度の実績としては、環境トップランナー要素を持つスーパーグリーン製品の目標を大幅に上回る拡大や、環境ソリューション認定商品の拡大、環境社会貢献活動の展

開など、概ね順調に目標を達成しています。

ただし、使用済み製品の資源再利用量の目標については、製品のダウンサイジング化などの要因により、未達となりました。

重点5分野	第5期環境行動計画の目標	2007年度目標	2007年度実績	達成状況	関連ページ
製品・サービスの環境価値向上	スーパーグリーン製品の拡大 全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を2009年度末に20%以上とする	スーパーグリーン製品の比率：7%	32製品群のスーパーグリーン製品を認定。グリーン製品におけるスーパーグリーン製品の比率：18%	○	P51~
	環境効率ファクターの達成 全事業部門で新規開発したグリーン製品を対象に、2005年度製品と比較して環境効率ファクター「2」を2009年度までに達成する	ファクター1.5	2007年度新規開発製品のグループ全体平均でファクター2.0	○	P51~
	回収した使用済製品の資源再利用量を拡大 資源再利用量を2009年度末までに2005年度実績比15%向上する また、第4期環境行動計画で達成した事業系IT機器の資源利用率90%は維持する	資源再利用量：3%向上 資源利用率：90%以上	資源再利用量：約20%減少 資源利用率：91.8%	△	P55~
	環境ソリューションの拡大 ITソリューションにおける環境配慮を2009年度までにビジネスのすべての側面に展開する	SI・アウトソーシング領域での環境ソリューションの認定・登録分野を6分野に拡大	SI・アウトソーシング領域での環境ソリューションの認定・登録分野を19分野に拡大	○	P54
地球温暖化対策	エネルギー消費CO <sub>2</sub> 削減 ●グローバル：実質売上高CO <sub>2</sub> 原単位を2010年度末までに1990年度実績比28%削減する ●国内：事業所におけるエネルギー消費CO <sub>2</sub> を2010年度末までに1990年度実績以下に抑制する	●グローバル：1990年度実績比63~69%削減 ●国内：1990年度実績比14%増加に抑制	●グローバル：1990年度実績比68.4%削減 ●国内：1990年度実績比10.8%増加に抑制	○	P57~
	CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス削減 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量を2010年度末までに1995年度実績比10%削減する	1995年度実績比123%増加に抑制	1995年度実績比112%増加に抑制	○	P57~
	グリーンファクトリー、グリーンオフィス制度の適用 2009年度末までにすべての事業所において、グリーンファクトリーまたはグリーンオフィス制度で「二つ星(★★)レベル」以上※を達成する ※富士通独自の評価基準を一定以上達成	認定制度の構築	認定制度を構築しトライアル実施	○	P57~
	VOC削減 揮発性有機化合物(VOC)の排出量を2009年度末までに2000年度実績比30%削減する	2000年度実績比4%削減	2000年度実績比23%削減	○	P57~
	廃棄物削減 廃棄物の発生量を2009年度末までに2005年度実績比3%削減する	2005年度実績比10%増加に抑制	2005年度実績比2.4%増加に抑制	○	P57~
	物流・輸送時のCO <sub>2</sub> 削減 輸送CO <sub>2</sub> 排出量を2010年度末までに2000年度実績比総量30%削減する	2000年度実績比26%削減	2000年度実績比27%削減	○	P62
	ガバナンスの強化 リスクマネジメントの強化 環境社会貢献	環境マネジメントシステム(EMS)の推進 グローバル統合環境マネジメントシステムの質向上により本業における環境活動を強化する	●EMS適用会社と要求レベルの明確化 ●活動組織の枠組み、仕組みの見直し ●内部監査プロセスの見直し	●対象組織の実態調査 ●事業部門が主体の環境活動を開催 ●電子監査のトライアル実施	○
グリーン調達活動の推進 サプライチェーンにおける環境活動を強化する。 お取引先の活動を支援する ●お取引先の環境マネジメントシステム(EMS)の高度化(ISO14001などの第三者認証システム運用)を推進する ●お取引先の含有化学物質管理システム(CMS)の構築を推進する		●部材系お取引先の60%でレベルII(FJEMS)以上のEMSを運用 ●部材系お取引先の60%でCMSを構築	●部材系お取引先の72%でレベルII(FJEMS)以上のEMSを運用 ●部材系お取引先の86%でCMSを構築	○	P49
環境社会貢献活動 社員一人ひとりが中心となり、地域社会に根ざした環境社会貢献活動を行う		環境社会貢献活動の実施件数 ●国内：すべての拠点で1件/年 ●海外：すべての拠点で1件/3年	●国内：すべての拠点で実施 ●海外：拠点の22%で実施	○	P50

※ ○：達成 △：一部未達成

お客様とともに

社員とともに

株主・投資家のために

お取引先とともに

国際社会・地域社会とともに

地球環境のために